

# 危険を 買う男

悪い奴らを追いつめろ！命知らずのフィクサー＝ベルモンド、華麗な挑戦！

# L'ALPAGUETEUR



ジャン・ポール・ベルモンド

ブルーノ・クレメル/ジャン・ネグローニ/パトリック・フィエリー

■「相続人」の俊英

監督・脚本フィリップ・ラブロ

音楽ミシェル・コロンビエ〈サントラ盤〉セブン・シーズ・レコード

〈カラー作品〉東宝東和提供/フランス映画



■ 近日ロードショー

丸の内東宝  
(211)6088

渋谷スカラ座  
(461)1929

新宿グランドオデオン座  
(202)0141

ほか東宝  
拡大系にて

●ベルモンド・ラブロ、「相続人」のダンディ・コンビが放つニュー・アクション!

実力、人気、話題、どれをとっても常に華麗なる「宿敵」アラン・ドロンとしのぎをけずるジャン・ポール・ベルモンド。そして今年三十八才、そのさわだった演出手腕で、ただならぬ才能を見せている「刑事キャレラ10+1の追跡」潮騒」のフィリップ・ラブロ。彼ら二人の名をいっぺんに高めたのは、「相続人」だったが、この名コンビによる最新作がいにやって来た。

ベルモンド扮する「危険を買う男」とは全く正体不明の一匹狼として、暗黒街の犯罪エリアに出没する「殺しの仕掛人」。フランス、地中海、オランダを貫くシンジケートを股にかけて、鮮やかな「狼の挑戦」をくり広げる。例によって危険シーンをスタント・マンなしで痛快にこなすアクションとともに、鋭敏洒脱なベルモンド・タッチを充分に堪能させてくれる。

●暗躍する国際犯罪を追いつめて、華麗に仕掛ける一匹狼!

●オランダ・ロッテルダム

大量の麻薬取引の行なわれている現場に乗り込んだその「男」は、すばやくブーツを掠奪すると別のギャングに売って現ナマにし、翌日「男」の雇い主であるフランス政府高官とドゥメック刑事にそっくり引き渡すとギャラを得て風のように消えた。かねてこの男によって常に縄張り荒され、煮え湯をのまされている組織のボス、スピッツァーは、組織を上げてこの男を消す事に躍起となっていた。

●地中海・ルカート港

ドゥメックの指令により、「男」はルカートの汚職警察署長、ガバルニを仕とめる。ガバルニがギャングとの取り引きに使う駐車場のキャンピング・カーを意表をついた手で急襲。見事な手ぎわでガバルニを警察に引き渡したのだ。

●パリ

大胆な宝石強盗事件発生。不良少年を手先に使い、仕事が終わると用済みの少年を始末して逃走する残忍な手口は犯人が「タカ」と呼ばれる兇悪犯であることを証拠づけていた。こんどの事件では幸いその少年コスタは命をとりとめた。

●タカを撃て! 必死の追撃戦から対決のクライマックスへ!

●パリ郊外の刑務所

「タカ」逮捕の任務を帯びた「男」は直ちに行動を開始。彼はカナダの密輸犯として刑務所に潜入。そこには「タカ」の手先に使われたコスタが収容されているのだ。

●パリ

またもや「タカ」による強盗事件が発生。オートバイのエサでつられ銀行強盗の手先となった少年は「タカ」に射殺された。

●刑務所

「男」はうまくコスタと同房の囚人となり、徐々にうちとけてきたコスタから「タカ」の情報と隠れ家聞き出すのに成功した。そして「タカ」を追ってコスタと脱獄計画を練る。この計画には、看守をあこで使う囚人ボス、サリセチが一役買った。

だが、脱獄実行寸前になってサリセチは「男」の雇い主がドゥメックである事を知り、看守に命じて殺し屋を差しむけた。間一髪のところ、男」とコスタは刑務所から脱出した。一方、サリセチは上部組織であるスピッツァーにすでに連絡していたのだ。

●鉄砲 旅館

「男」とコスタは危うく難を逃れると、逆にスピッツァーのアジトである「鉄砲」旅館へ逆襲に出た。壮烈な撃ち合いが続き、スピッツァー組織は壊滅した。が、応援にかけつけたドゥメックは負傷してしまった。

●ジュビジの塔

コスタは一足先にジュビジの塔へ向った。そこはかつてコスタが「タカ」に拾われた時連れて行かれた事のある「タカ」の隠れ家だ。そこでコスタは大量の現金と宝石を見つけた。が、その時すでにコスタの背中には「タカ」の銃口があった。

●上空一ワメートル

静かな物腰で接待する一流スチュワード——これが、異常なほどに冷酷な兇悪犯「タカ」のもう一つの顔だった。まるで何事もなかったようにコスタの死体をかたづけた「タカ」は今、スチュワードとして空の勤務についていた。ファースト・クラスの特等室に呼ばれてシャンパンを運ぶ「タカ」。だが、そこには思いもよらぬ人物が待ちうけていた。

●ワキをガツチり固める豪華メンバー

共演は「異邦人」「別れのスキヤット」のブルーノ・クレメル。コスタ少年には新人パトリック・フィエリーが好演している。ラブロと共に脚本を共同執筆しているジャック・ランズマン、そして音楽のミシェル・コロンビエも「相続人」以来のおつきあい。気の合った連中と思う存分練り上げたベルモンド会心の痛快アクション大作として見る者を一瞬たりともあきさせない。



危険を買う男

カラー作品/東宝東和提供/フランス映画  
L'ALPAGUEUR